

# 大牟田市立羽山台小学校

## 1 本校のESDの特徴

本校では、福祉教育と地域との連携を中心に据えながらESDを推進している。1年生から6年生まで発達段階に応じながら計画的に福祉教育を継続し、住みよい社会をつくるために思いやりや助け合いの心を持つ子どもの育成をめざし、主に生活科や総合的な学習の時間において実践している。

また、思いやりや助け合いの心を発揮する対象を人だけではなく、ものやことにも広げることができるように環境教育にも力を入れて実践している。更に今年度は、国語科教育との関連を図った実践を2・4・6年生で取り入れた。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

＜プロジェクト名「ちいきを愛する羽山っ子プロジェクト」＞

学 年	内 容	教科等・時期	ESDで重視する主な能力態度
1 年	「むかしからのあそびをしよう」	生活 1 月	⑥つながりを尊重する態度
2 年	「声やうごきであらわそう」	国語10月	④コミュニケーションを行う力
	「おれいの気もちをつたえよう」	生活 2 月	⑥つながりを尊重する態度
3 年	「よりよい暮らしについて考えよう」	総合10月	⑤他者と協力する態度
4 年	「守れ！21世紀の大牟田」	総合 5 月～7 月	②未来像を予測して計画を立てる力
	「暮らしの中にある『和』と『洋』を調べよう」	国語11月	③多面的, 総合的に考える力
5 年	「探検しよう『みんなの地球』」	総合11月～12月	②未来像を予測して計画を立てる力
6 年	「心のふれあい, 伝えあい」	総合10月～11月	④コミュニケーションを行う力
	「将来の夢や生き方について考えよう」	国語 1 月～2 月	②未来像を予測して計画を立てる力
全学年	「ESD展示会」	1 月	③多面的, 総合的に考える力

## 3 特徴的な活動事例

＜2年生 声やうごきであらわそう「名前を見てちょうだい」(国語科10月)＞

### (1) 目標

○登場人物の様子や気持ちを音読や動作で表現することに興味を持ち、会話文や様子が分かる言葉に線を引いたり動作化したりしながら、進んで物語を読もうとする態度を育てる。

(国語への関心・意欲・態度)

○場面の様子について、登場人物の行動や会話を具体的に想像しながら読むことができるようにする。

(読む能力)

○登場人物の会話や様子が分かる叙述をもとに、着目したい人物の様子を動作化したり気持ちを想像して書き込んだりして、工夫して音読することができるようにする。

(読む能力)

○「誰が」「どうした」に気を付けて、文章を読むことができるようにする。

(言語についての知識・理解・技能)



## (2) 実践の展開

### ①単元の課題設定と見通し

物語のおもしろさを見つけ、校区の幼稚園・保育園の子どもたちに紙芝居を使って読み聞かせをするという本単元のめあてを設定し、読書ボランティアの方から「名前をみてちょうだい」の読み聞かせを聞いたり、質問したりすることで、単元の見通しを持った。



【読書ボランティアの方への質問】

### ②課題追究

読み取った内容や登場人物の気持ちを根拠に、読む速さや声の大きさなどの工夫を話し合った。

練習した音読を読書ボランティアの方に聞いてもらい称賛やアドバイスを通して、音読への自信を深め、幼稚園・保育園訪問の意欲を高めた。



【読書ボランティアの方への練習披露】

### ③発信・振り返り

幼稚園・保育園を訪問して紙芝居を用いた音読発表会を行った。「振り返りの段階」では、音読発表会のビデオや写真を見て、これまでに学習したことを整理し、幼稚園・保育園の子どもたちや先生方への手紙を書いた。



【幼稚園・保育園での音読発表】

## 4 本年度の成果と課題

### ○成果

- ・読書ボランティアの方から音読のコツを教えて頂いたので、登場人物の様子を読み取っていかうという意欲を高められた。また、自分たちの音読に対するアドバイスをしてもらい、改めて物語の内容に立ち返ることができた。その学習を次の単元や他領域での発表の場面に生かしたりするようになった。
- ・子どもたちが自分の考えを伝えたり、友だちの気持ちを尊重したりしながら、同じ目標に向かって積極的にコミュニケーションを行っていた。また、自分たちと幼稚園・保育園の園児との違いに気づき、相手に合った音読の仕方に気を配る寛容な姿を見ることができた。
- ・「大牟田市ユネスコスクールの日」制定記念の一環として開催したユネスコスクール集会により、子どもたちは各学年のESDの取組を具体的に知ることができた。また、「ESDとは何か」を分かりやすい言葉で理解することができた。

### ○課題

- ・来年度に向けて、羽山台校区の教育資源を洗い出し、教科等横断的な学習の視点から主として国語科教育との関連化を図り、内容面と方法面を明確にした教材開発を全学年で行っていく。